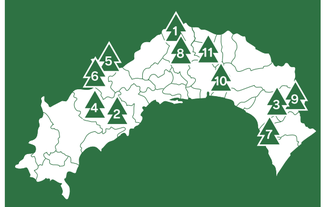
協働の森

森の力 Mori no chikara report 森の力レポート 2006

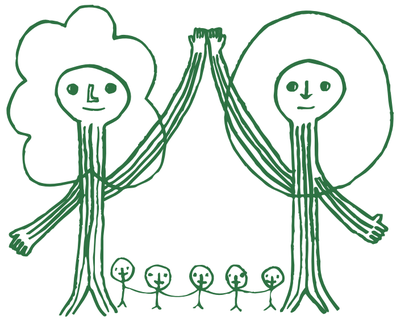
日本一の森林県 高知の挑戦！



森の大きな力を再生するための取り組みが、高知県のあちこちではじまっています。

この一年間で11の環境先進企業の皆さんが高知県と「森の力パートナー協定」を締結し、社員の皆さんや地元住民の方たちと一緒になって間伐などの森づくりに取り組んでいます。

人が森を助ける。森が人を助ける。高知県下11の森林で、環境先進企業の皆さんと森の大きな力を再生するための取り組みがはじまっています。



1 いの町・三井協働の森

いの町

三井物産株式会社

木が、切って欲しいなあ！

と言っている気がしました。木を切るのも気持ちがいいんですね。この木が一本一本、家になっていく、というのも感慨深いです。

ふだんはスーツで決めてる三井物産の社員さんですが、今日はこの日のためにあつらえた作業服にヘルメット、足袋とまさに山師。その気合いは先生役のNPO土佐の森救援隊の方にも伝わったらしく、現場につくやいなやチェーンソー講習と間伐体験が始まりました。まずは倒したい方向に受口（うけぐち）を入れ、次に逆の少し上のあたりに追口（おいぐち）を入れる。木のてっぺんがゆらゆらし始めたら、「もう倒れるよ」のサインです。大きな音をたてて木が倒れる度に森中から歓声があがります。倒したのは計10本。本当はよく乾燥させてからがいいのですが、そのまま移動製材機で「まな板」にしてもらい、お土産にしていただきました。

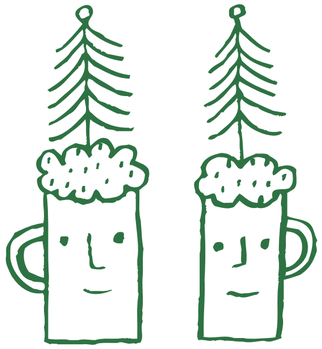
倒れる度に歓声が。
高知中で間伐に取り組むNPO土佐の森救援隊の指導のもと、次々とヒノキを伐採！

三井協働の森
看板前で記念写真

木くずは小袋に詰めて
即席ヒノキ風呂に！

DATA 凡例
①協定森林面積
②協定締結日
締結期間
③締結内容

DATA
①約50ha　②平成18年5月23日（締結日）から3年間
③間伐、枝打ち、林内歩道整備／社員等の体験型環境研修／看板設置



2 たっすいがは、いかん！の森

四万十町

キリンビール株式会社

森づくりの大変さと大切さ。

たった一時間の作業だったけど、心と体で実感しました。これを一年中続けるのは並大抵のことじゃないですね。

役場の人の「すぐ」という言葉を信じてはじめた山登り。だけど登れど登れど「あと少しじゃき！」。いきなりの厳しい道程をゆくこと30分、気が付けば四万十川がはるか下に見える山頂の作業エリアに到着。約1時間の作業では、シイノキやヤブツバキなどスギやヒノキの生育をじゃまする雑木を除伐。はじめはどの木を切ったらいいのか迷っていた参加者の皆さんも、やがてはノコギリ一本で大木を切り倒すようになり、作業時間もオーバーするぐらい無我夢中に。お楽しみの昼食は地元の方たちによる四万十ポークや鮎の塩焼き。新鮮な地場素材だけあって、どれもこれも美味！ 串焼きのおかわりはまるで争奪戦の様相でした。

大きな雑木をノコギリだけで倒しました！
時間はかかっても、姉弟2人で力を合わせればできるんです。

たった20分の山道。
すぐ着きますよ！ その言葉を信じてたのに…
こんなにきつい山道なの？
汗だくで現場を目指します

そばを打つ。
まーるくソバが広がったら合格！
だけどなかなか…

DATA
①約35ha　②平成18年5月24日（締結日）から3年間
③バスツアー／間伐材使用の看板・名刺・ログハウス／間伐、枝打ち、林内歩道整備

4 四万十よんでんの森

四万十町

四国電力株式会社

いつもの現場とは違う緊張感があります。

電気の現場と森の現場、共に暮らしと関わる現場です。時間をかけて、しっかりと森をつくっていきたいですね。

開設式には近くの川口小学校の皆さんも参加して、エコ風船（和紙の風船）を飛ばしたり記念植樹をしたりと、とても賑やかなスタートになりました。午後の社員研修では森林環境や林道開設についてのレクチャーを受けながら、雑木の除伐、スギヒノキの間伐、枝打ちを実践。仕事柄、普段から山の現場に慣れている社員さんが多い四国電力さんですが、間伐となると勝手が違うらしく、みなさん一苦労されている様子でした。現場は町が進める「持続可能な森林経営（森林生態系の健全性維持を図りながら、生産性を確保する考え方）」を実践している森でもあり、今回の締結でその経営がスムーズに進むことになりそうです。

ノコギリの使い方を勉強中。
みんな真剣です！

和紙の風船、
どこまでも飛んでいけ！

大きな森ができますように…と願いながら、木を植えました。

DATA
①約102ha　②平成18年9月8日（締結日）から5年間
③持続可能な森林経営のモデル林づくり／間伐、林内歩道／ふれあい活動の実施

私の青空 高知龍馬空港

5 椨原の森

椨原町

全日本空輸株式会社

森をもっと知ってほしいと思いました。

最近になって木の良さが見直されてきてるけど、木の活用や森で遊ぶことが普通にできるようにしていきたいですね。

全日空が就航空港周辺で展開している環境貢献プログラム「私の青空」。椨原の森は16番目の森として開設されました。現場は天狗高原にほど近い標高1000mのヒノキ林。メインイベントの間伐作業は林業をされている方や高知大の学生さんが参加していたこともあり、驚くほどスムーズに進みました。気をつけていないとぶつかるのではないかというぐらい、あちこちで次々とヒノキや雑木が倒されていきます。1時間余の作業のなか、山野草をみつけて大満足の方あり、ヒノキの輪切りをもらってご満悦の方あり。帰りには高知大生のログハウスや町産木材を活用した椨原町役場も見学し、森の活用方法まで考える有意義な一日となりました。

親子でいっしょに木を倒す。
でもお父さんがガードしすぎて、ちょっと切りにくそう…？

おうちゅう？
切り口がずれないように…

気持ちいい！
高知大生のログハウス。
ブランコも完備！

DATA
①約37ha　②平成18年10月19日（締結日）から3年間
③間伐、枝打ち、林内歩道整備／11月11日（こうち山の日）に森づくり活動を実施

7 JTの森 奈半利 ～サンゴを守る森～

奈半利町

日本たばこ産業株式会社

山とサンゴはつながっている。

そのことが現場にきてよくわかりました。家族にも話して、自然のこと、自分たちの暮らしのことを考えてみます。

四国じゅうの各地から、JTの社員さんと家族が集合し、サンゴの海へつながる森の手入れにチャレンジ。開会式の後、山を守ることの大切さについての講話を聞き、安全指導を受けました。昼食は、奈半利の方々手作りの猪汁や皿鉢料理。そして、竹で作った器とお箸。とにかく大好評でした。
お腹が張った後は、森林組合などの方々に教えていただきながら、ノコギリ片手に間伐活動を開始。間伐によって陽の光が差し込むようになると感動の声があがりました。
２時間の作業後はみんなくたくたで、間伐の大変さが骨身にしみるとともに、森を守ることの意義と地元の方々の温かさを大いに感じた一日になったのでした。

みんなで記念写真
頑張っていきましょう！

美味しい！豪華な
皿鉢料理が並びました。

さすがはJTさん。
山の中でも灰皿を設置。
smoking clean！

DATA
①約160ha　②平成18年11月1日（締結日）から5年間
③間伐を中心とする森林整備／広葉樹林育成／社員や地域住民参加の植林活動

3 やなせ水源の森

馬路村

電源開発株式会社

①約1,400ha（整備対象範囲としての面積）
②平成18年7月25日から5年間
③間伐／作業道整備／体験学習

6 “もったいない”未来に夢をつなぐ森

椨原町

矢崎総業株式会社

①約11,350ha（整備対象範囲としての面積）
②平成18年10月24日から5年間
③間伐／作業道整備／森林資源活用

8 いの町太陽が育む森

いの町

太陽石油株式会社

①約39ha
②平成18年11月9日から3年間
③間伐／作業道整備／体験学習

9 損保ジャパン・いきいき共生の森

馬路村

株式会社損害保険ジャパン

①約43ha
②平成19年1月24日から3年間
③間伐／作業道整備／体験学習

10 トヨタ車体グループの森

南国市

トヨタ車体株式会社

①約68ha
②平成19年2月9日から3年間
③間伐／作業道整備／体験学習

11 コープ自然派の森

土佐町

コープ自然派事業連合

①約20ha
②平成19年2月14日から3年間
③間伐／作業道整備／体験学習

高知県文化環境部循環型社会推進課　780-8570　高知市丸の内1-2-20　tel.088-823-9794 fax.088-823-9283　E-mail.142901@ken.pref.kochi.lg.jp　HP.http://www.pref.kochi.jp/~junkan/kyoudouno_mori/kyoudounomori_top.htm　Illustration:Keiko Shibata

古紙配合率100%
再生紙を使用しています R100